

「すこやかライフ」でとり上げる気管支ぜん息やCOPDに関係する用語を解説します。本誌内容と合わせて病
気への理解にご活用ください。

保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表①

「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表」(本誌「現場レポート」P13～15参照)は、保育所生活において特別
な配慮や管理が必要なアレルギー児の保護者が保育所に提出するもので、乳幼児の症状などを保育所が正しく把握し、保育
所と保護者、嘱託医等が共通理解をもって取り組みを進めるための資料となります。

指導表は保護者が患児の主治医に記入してもらい、年に1回、保育所に提出します(使い方は本誌「現場レポート」参照)。
なお、この指導表は厚生労働省が作成した参考様式であり、地域独自の取り組みや、保育・医療現場の意見を踏まえ、改善
していくこととされています。

<参考様式>

保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表(気管支喘息・アトピー性皮膚炎・アレルギー性結膜炎)

提出日 平成__年__月__日

名前 _____ 男・女 平成__年__月__日生(__歳__ヶ月) _____ 組

この生活管理指導表は保育所の生活において特別な配慮や管理が必要となった場合に限り作成するものです。

病型・治療		保育所での生活上の留意点		【緊急連絡先】 ★保護者 電話: _____ ★連絡医療機関 医療機関名: _____ 電話: _____ 記載日 _____年__月__日 医師名 _____ 医療機関名 _____
気管支喘息 (あり・なし) A. 重症度分類(治療内容を考慮した) 1. 閉塞型 2. 軽症持続型 3. 中等症持続型 4. 重症持続型 B. 長期管理薬 1. ステロイド吸入薬 剤形: _____ 投与量(日): _____ 2. ロイコトリエン受容体拮抗薬 3. DSCG吸入薬 4. ベータ刺激薬 内服 貼付薬 5. その他() C. 急性発作治療薬 1. ベータ刺激薬吸入 2. ベータ刺激薬内服 3. その他 D. 急性発作時の対応(自由記載)		A. 寝具に関する留意点 1. とくになし(通常管理のみ) 2. 防ダコシーツ等の使用 3. 保護者と相談 B. 食物に関する留意点 1. とくになし 2. 食物アレルギー管理指導表参照 C. 動物との接触 1. 配慮不要 2. 保護者と相談し決定 3. 動物への反応が強い場合不可 動物名() D. 外遊び、運動に対する配慮 1. とくになし 2. 保護者と相談し決定		
アトピー性皮膚炎 (あり・なし) A. 重症度のみやす(厚生労働科学研究班) 1. 軽症:面顔に限らず、軽度の皮疹のみみられる。 2. 中等症:強い炎症を伴う皮疹が体表面積の10%未満にみられる。 3. 重症:強い炎症を伴う皮疹が体表面積の10%以上、30%未満にみられる。 4. 最重症:強い炎症を伴う皮疹が体表面積の30%以上にみられる。 ※軽度の皮膚:軽度の紅斑、乾燥、落屑主体の病変 ※強い炎症を伴う皮膚:紅斑、丘疹、びらん、浸潤、苔癬化などを伴う病変 B-1. 外用薬 1. ステロイド軟膏 2. タクロリムス軟膏(「プロトピック」) 3. 保湿剤 4. その他() B-2. 常用する内服薬 1. 抗ヒスタミン薬 2. その他() C. 食物アレルギーの合併 1. あり 2. なし		A. プール・水遊び及び長時間の紫外線下での活動 1. 管理不要 2. 保護者と相談し決定 B. 動物との接触 1. 配慮不要 2. 保護者と相談し決定 3. 動物へのアレルギーが強い場合不可 動物名() C. 発汗後 1. 配慮不要 2. 保護者と相談し決定 3. 夏季シャワー浴(施設で可能な場合) D. その他の配慮・管理事項(自由記載)	記載日 _____年__月__日 医師名 _____ 医療機関名 _____	
アレルギー性結膜炎 (あり・なし) A. 病型 1. 通年性アレルギー性結膜炎 2. 季節性アレルギー性結膜炎(花粉症) 3. 春季カタル 4. アトピー性角結膜炎 5. その他() B. 治療 1. 抗アレルギー点眼薬 2. ステロイド点眼薬 3. 免疫抑制点眼薬 4. その他()		A. プール指導 1. 管理不要 2. 保護者と相談し決定 3. プールへの入水不可 B. 屋外活動 1. 管理不要 2. 保護者と相談し決定 C. その他の配慮・管理事項(自由記載)	記載日 _____年__月__日 医師名 _____ 医療機関名 _____	

この生活管理指導表は、地域独自の取り組みや現場からの意見を踏まえ、今後改善していくことを考えております。

※表面の気管支喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性結膜炎について抜粋。
食物アレルギーについての詳細は裏面(25-2)を参照。

「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表」は厚生労働省の次のアドレスからダウンロードできます。

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo_kosodate.hoiku/index.html

保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表②

食物アレルギーについて

乳幼児における食物アレルギーは診断が確定していないことが多く、確定診断がついていなくても、食物除去を保育所に要求する場合には、生活管理指導表が必要となります。

保育所での対応は安全性を優先して、原因食品を全くとらないようにする完全除去を基本としています。また、食物アレルギーは成長とともに次第に治る例がありますので、除去していた食物を解除する場合には、きちんと医師による診断を受けてから、保育所に除去解除の書面を提出し、その食品を食べられるようにします。

食物アレルギー（あり・なし）	病型・治療	保育所での生活上の留意点
①	A. 食物アレルギー病型（食物アレルギーありの場合のみ記載） 1. 食物アレルギーの関与する乳児アトピー性皮膚炎 2. 即時型 3. その他（新生児消化器症状・口腔アレルギー症候群・食物依存性運動誘発アナフィラキシー・その他：）	A 給食・離乳食 1. 管理不要 2. 保護者と相談し決定
	B. アナフィラキシー病型（アナフィラキシーの既往ありの場合のみ記載） 1. 食物（原因：） 2. その他（医薬品・食物依存性運動誘発アナフィラキシー・ラテックスアレルギー・）	B アレルギー用調整粉乳 1. 不要 2. 必要 下記該当ミルクに○、又は（ ）内に記入 ミルフィー・ニューMA-1・MA-mi・ベブディエット エレメンタルフォーミュラ その他（ ）
②	C 原因食物・除去根拠 該当する食品の番号に○をし、かつ《 》内に除去根拠を記載 1. 鶏卵 《 》 2. 牛乳・乳製品 《 》 3. 小麦 《 》 4. ソバ 《 》 5. ピーナッツ 《 》 6. 大豆 《 》 7. ゴマ 《 》 8. ナッツ類* 《 》（すべて・クルミ・アーモンド・） 9. 甲殻類* 《 》（すべて・エビ・カニ・） 10. 軟体類・貝類* 《 》（すべて・イカ・タコ・ホタテ・アサリ・） 11. 魚卵 《 》（すべて・イクラ・タラコ・） 12. 魚類* 《 》（すべて・サバ・サケ・） 13. 肉類* 《 》（鶏肉・牛肉・豚肉・） 14. 果物類* 《 》（キウイ・バナナ・） 15. その他（ ）	C 食物・食材を扱う活動 1. 管理不要 2. 保護者と相談し決定
	D 緊急時に備えた処方薬 1. 内服薬（抗ヒスタミン薬、ステロイド薬） 2. アドレナリン自己注射薬「エピペン®0.15mg」 3. その他（ ）	D 除去食品で摂取不可能なもの 病型・治療のCで除去の際に摂取不可能なものに○ 1. 鶏卵： 卵殻カルシウム 2. 牛乳・乳製品： 乳糖 3. 小麦： 醤油・酢・麦茶 6. 大豆： 大豆油・醤油・味噌 7. ゴマ： ゴマ油 12. 魚類： かつおだし・いりこだし 13. 肉類： エキス
		E. その他の配慮・管理事項

①原因物質・除去根拠

給食での除去が必要な食物アレルギーの原因食物とその除去根拠を記載してもらいます。原因物質は「○○類」などひとくくりせず、具体的に食品を記載します。「④未摂取」は乳児など、まだ摂取していない食品の除去が必要と判断される場合に選択されます。

②緊急時に備えた処方薬

「2. エピペン」に○がついた場合、エピペンを保育所に持参する場合でも、患児が一人で自己注射をすることは実際上困難で、周りの人による介助が必要です。保育所におけるエピペンの管理方法や、誤食時の対応について、保護者と保育所とよく話し合っておく必要があります。

③給食・離乳食

「2. 保護者と相談し決定」に○がついた場合は、代替食対応などについて保護者と保育所とよく話し合う必要があります。乳幼児期の健やかな成長のためには、除去に配慮するだけでなく、できるだけさまざまな栄養をとることが望めます。

④アレルギー用調整粉乳

乳児では粉乳が主たるエネルギー・栄養源であるので、具体的なアレルギー用ミルク名を挙げて記載します。なお、主要なカルシウム源として離乳完了後も家庭などで料理での使用や飲用することが望めます。

⑤食物・食材を扱う活動

乳幼児は何でも口に入れる傾向があるため、注意が必要です。小麦粉やゼラチンの粘土、豆まき用のピーナッツなど、保育所の生活や行事などで食物アレルギーを引き起こす可能性について主治医とよく相談しましょう。

⑥除去食品で摂取不可能なもの

この表に挙げられている食品（調味料など）は、該当食品に対するアレルギーがあっても多くの場合、摂取可能なものです。調理への配慮のために、摂取不可能な場合にのみチェックすることになっています。